

第2回 議会改革協議会 会議録

日時：令和7年12月10日（水）14:00～14:40

場所：第6委員会室

■出席構成員

会派	構成員	
自民党・無所属の会	田中 元 議員（座長）	菊地 公平 議員
公明党	木畠 広宣 議員	金子 秀一 議員
市民とともに北九州	大久保 無我 議員	泉 日出夫 議員
日本共産党	山内 涼成 議員	永井 佑 議員

■議題

- 1 第1回議会改革協議会会議録の確認
- 2 議会広報の強化について
 - (1) SNSを使った情報発信の試行実施の状況
 - (2)「広報チーム」の設置について
- 3 議員立法の促進について
過去の議員提案の政策条例制定のポイント
- 4 新たな協議事項について
- 5 その他

【座長】

○第2回議会改革協議会を開会する。

1 第1回議会改革協議会会議録の確認

【事務局】

○資料1により説明

【座長】

○ただいまの説明について、確認いただけるか。（全員了承）

○それでは、その通り確認する。

2 議会広報の強化について

(1) SNSを使った情報発信の試行実施の状況

【事務局説明】

○資料2により説明

【座長】

○それでは、ただいまの説明について質問や意見はあるか。

【公明党】

○今回SNSを使った情報発信の試行実施の状況についてということで、フォロワー数が増えている中で、行政視察の受け入れを情報発信していると思う。
○この情報発信について、来ていただいた議員さんには、「ぜひ皆様のことをSNSであげますので、フォローしてください」みたいなお声掛けは、事務局の方からしているのか。

【事務局】

○視察をお受けするときに、北九州市議会の方でSNSを発信してよろしいかというお問い合わせをしている。写真等を載せさせていただきたいということを先に申し上げて、多くは快く了承いただいている。

【公明党】

○個人的には大変すばらしい取組だと思っている。北九州市にいる私としても、他都市の皆さんができる内容に一番興味を持っているのか知ることができると、あとやはり視察にお越しいただいた議員さんには、たくさんのフォロワーがいらっしゃると思うので、ぜひフォローしていただくことで、その方々の先まで繋がっていくのではないかと思っている。

○SNSに載せていいかという確認とともに、ぜひフォローしてくださいというお声掛けもお願いしたいと思っているので、よろしくお願ひする。

【自民党・無所属の会】

○まず結論として、非常に成果がしっかりと出ていると受けとめている。

○特に、伸びが著しいのが、議長、副議長の出席行事等に対してが非常に閲覧件数が増えているということが見て取れる。これらの中で例えば、どういった内容がバズったとか、そういった知見があれば、ご紹介いただければと思う。

【事務局】

○速報ではあるが、議連でギラヴァンツの試合を見に行った、ホームゲームを応

援したと投稿している。その時の閲覧数が5,000回ぐらいである。

○また、議長が、九州五街道の起点がこちらなので、伊能忠敬氏の献花の集いにご出席されたことがある。それが9月だったが、4,076回。この伊能忠敬氏というワードに反応している部分があるのかなと思っている。

○また、議長が10月に1日で複数の行事に参加したことがある。その時は、「きかんしゃトーマスの世界展」だと、「保育研修大会」だと、あと「劇団青春座」の祝賀会だと、そういうものに参加したときに、1,000回ぐらい閲覧されている。これらの閲覧回数が多かった。

【事務局】

○補足だが、先日、九州国際大学附属高校の野球部が優勝したご報告で議長に表敬訪問された。そういうものとか今日、デフリンピックで金メダルをとった女子選手たちが表敬いただいているので、そういうものは多分今からどんどん伸びていくと思う。ご本人たちも載せることを非常に喜んでいたので、これからもそういうものがあれば、どんどん発信していきたいと思っている。

【自民党・無所属の会】

○今回は試行実施であったが、今聞いた中でも、やっぱりやってみると色々な知見が溜まっていくな、という感想である。結構バズりそうだと、拡散しやすいのはどういう傾向があるかというのも何となく見えてくると思うので、今後も積極的にこれを続けていっていただきたいと思っている。

【座長】

○他にないか。

【市民とともに北九州】

○具体的に今、発信を手がけているのは政策調査課なのか。

【事務局】

○政策調査課以外に議長副議長の参加行事については総務課も発信している。

【市民とともに北九州】

○それでは、それぞれがアカウントを持っているのか、同じアカウントで発信しているのか。

【事務局】

○同じ市議会の公式アカウントで投稿している。

【市民とともに北九州】

○今までが試行実施で、これから本格実施となったときに何か変わらのか。

【事務局】

○引き続き本格実施しようということになっても形は変わらないと思う。この3ヶ月間やってきたものを引き続き発信していけば、市議会の広報に繋がっていくものと思っている。

【市民とともに北九州】

○これを、もっとこうした方がいいんじゃないとか、ああしたらいいんじゃないかというのを考えていくのは、事務局ベースになっていくのか、新たに設置される（仮称）広報委員会がベースになるのか、どちらだと考えているのか。

【事務局】

○この後、（仮称）広報委員会についてご協議いただくが、そちらの方でご協議いただく場面も出てくると思っている。

【座長】

○他にないか。

【日本共産党】

○試行実施の間に市民からのDMが届くような状態にしているのかということと、その対応について見解をお願いする。

【事務局】

○DMが届くようにはしていない。まずはご覧いただく形のみをとっている。

【座長】

○他にないか。

【日本共産党】

○定例会の発信が減っているのは、これはこの期間の問題なのか。

【事務局】

○これは、定例会の再放送を見ることができますという投稿を以前やっていて、今年度に入ってそれを止めていた。この部分が、単純にマイナスになっているもので、他の部分については前年度と変わらないし、先ほどから申し上げている議長の出席行事等を増やしている。

【日本共産党】

- やはり定例会がメインにならないといけないという気がする。それで、主権者教育も兼ねて、どのような議論がなされているかということを面白く編集できれば、それが一番いいのかなと。
- この定例会を見てくれる人を増やしていくこと、これはもう最大の課題と思っているので、これは要望しておく。

【座長】

- 他にないか。
- それでは、X、Facebookとともに、閲覧数、フォロワー数がかなり増えており、今、皆様からも意見があった通りで、特段問題もないため、本格実施したいと思うが、よろしいか。(全員了承)
- それでは、その通り決定する。

2 議会広報の強化について

(2) 「広報チーム」の設置について

【事務局】

- 資料3により説明

【座長】

- それでは、ただいまの説明に対して質問や意見、広報チームで協議していただきたいことなどないか。

【公明党】

- 現在の市議会だよりの編集委員会、これを発展解消して設置するといふことでのいいか。

【座長】

- 市議会だよりも広報チームで協議することになるため、市議会だよりの編集委員会は、広報チームの準備が整い次第廃止になると思う。

【公明党】

- 承知した。

【座長】

- 他にないか。

【自民党・無所属の会】

○広報チームで協議していただきたい内容の1つとして、やはり何らかの目標設定をしていただきたいと思っている。というのも、当然1つの指標となるべきは、いわゆる市執行部、市長が発信している投稿の閲覧数であったり、フォロワー数であったりというのは多分あると思う。当然議会としても、同じぐらいを目指すべきなのかなと思っている。何らかの目標設定をして、それに向けて一生懸命見てもらえるように努力していくというところも含めて、目標は作っていただきたいと思っている。

【市民とともに北九州】

○広報というと、どうしてもSNSの発信のイメージが強くなってしまうが、ホームページの見せ方、例えば、ちゃんと議会やっていますよっていうことが、ホームページを見たら分かるようにして、今やっているんだみたいに一目瞭然で分かるようにしていただくのがいいのかなという意味で、議会のホームページのリニューアルもしっかり考えていただきたいと思っている。

○また物理的な話で言うと、議事堂の外壁に、例えば今だったら令和7年12月議会開会中ということが、バーンと垂れ幕みたいにかかっていると、外から来た人もすぐ分かる。議会やっているんだっていうのが分かるようなこと、これも私は広報宣伝だと思う。こういったことも含めて、一緒に考えていただきたいと思う。

【事務局】

○今議員からご提案があった件だが、きちんと広報チームが議会の中にできて、それを執行部の方にもきちんと認識していただきて、そこで先ほどの色々なアイデアをきちんと発信していただいたら、我々も予算の交渉が非常にしやすくなるので、ぜひとも一緒にやっていきたいと思っている。

【座長】

○他にないか。

【日本共産党】

○前回の会議でも話したが、私の問題意識としては、やはり市民と双方向になることが非常に大事だと思っている。

○リアルな現場で、例えばチャチャタウンであったり、小倉駅のJAM広場であったり、市民と議会でのリアルな対話ができるような仕組みについて、広報チームで協議していただきたい。

○広報に限らず、これまでカフェトークとか色々な取組をやってきたが、一番自

分自身繋げたいのは、やはり議場に来ていただくことである。なかなか仕事や学校家庭のことで日中来ていただくのは難しいかもしれないが、その中でも、例えば、たまたま休みができて知っている議員が質問するから行ってみようとか。地域にとって大事な問題が議論されているから議場に行ってその質問を見てみよう。市長の答弁はどうなのかと。北九州市の姿勢はどうなのかというのを、問題意識を持って見ていただく市民が1人でも多く増えることが一番の目的だと私は思う。

○そういう点で今、自宅にテレビがあっても、なかなか地上波を見ない、Y o u T u b e を見ているということで、広報チームができたら構わないが、今、本会議の質問は今Y o u T u b e で見られないので、ここのところを協議していただきたい。

【市民とともに北九州】

○今、本会議だったら開会日に市民の方が市歌を歌ってくれている。こういうのは市民の方を巻き込んでおり、来てくれた方たちは議会に対してすごく良い印象を持って帰っていくと思う。

○そういった感じで、S N S の発信とか、市議会だよりもそうだが、なるべく多くの市民の方たちを巻き込んだ取組ができると、例えば主権者教育にも繋がるかもしれないし、議会を訪れるということも増えるかもしれないため、何かそういうきっかけを色々作って、議会の方に入ってきてもらうとか、議会と一緒にやるとか、議場に触れてもらうということを、多くの方たちとやる機会を沢山作っていくと良いと思う。

【座長】

○他にないか。

【公明党】

○行政視察で川崎市に行ってきて、川崎市は新庁舎の議会棟に入る前に、デジタルサイネージを置いて、市の歴史、その後は、市議会とは何なのか、市議会の仕組みなどをずっと流している中で、この区にはこういった議員さんがいますとか、議員の紹介もされているのを見て、こういったデジタルサイネージでの広報もいいなと思ったので、ぜひチームの中では、そういったものの設置についても検討していただければと思う。

【市民とともに北九州】

○この前、福岡市議会に行ったときに、エレベーターに入ったら、中にAゼロサイズのポスターが貼ってあって、議員さんの顔がザーッとあった。それと、もう1つ、何月議会開会中みたいな感じでバシーンと貼っていた。こういうの

であれば、入った瞬間どうしても目につくし、ずっと見る。

○このような感じでポスターを作るとか、福岡市と議事堂の構造が違うので、貼る所はあまりないかもしれないが、区役所でも、もし貼れる場所があったらそういうものも作ってみるのも 1 つの手かなと思う。

【座長】

○他にないか。

【日本共産党】

○構成の少数会派の取り扱いについて、最初は 5 名以上の会派から各 1 名ずつで立ち上げた後、1 年間かけて少数会派の取り扱いについて協議するということになっている。これについては案の通りでいいが、少数会派からの意見の聴取方法であるとか、構成とするのかも含めて広報チームで検討していただきたいが、もし早目にやり方が決まった場合、前倒しして実施することは考えられるのか。

【事務局】

○まず、事務局でこうしたいということは、なかなか言う状況にはないのはご理解いただきたい。ただ今、議員からご提案があった、広報チームの中で、まずこれを決めようということであれば、我々事務局は最大限のお手伝いをするし、決まったことは、きちんと全会派にお知らせする。

【日本共産党】

○最初の任期は 1 年間だけだが、この 1 年をかけて議論しようというところは大事なことであるため、ぜひ広報チームで議論していただきたいということを希望しておく。

【座長】

○他にないか。

【公明党】

○同じく構成について、これ大会派から 1 名ずつの 4 名という形になっているが、内容によっては、この 1 名ずつに非常に負担がかかると思う。それに関しても、増やすとか減らすという話は、この広報チームの中で検討していただくということでおろしいか。

【事務局】

○先ほどと同じお答えになるが、新しいことをするとなると色々な方のご意見

やご提案があると思うので、その都度、今回ちょっと増やしてみようかとか、そこはご協議いただければ、事務局は最大限ご協力させていただく。

【市民とともに北九州】

○確かに、それぞれの会派から1名ずつだと負担が大きいと思う。この役割で、効果的な議会広報の企画立案とあるが、かなりざくっとしたものなので、もう少し何か示してあげないと、なかなか議論が深まらないのではないかと思う。まずは立ち上げて、集まって話してもらうしかない。

【座長】

○今、広報チームに対して、色々な要望や意見があった。それだけ広報チームへの期待が大きいのだと改めて感じた。

○本日、出された意見に関しては、事務局で一旦まとめて、チームが設置されたら申し伝えたいと思うが、よろしいか。(全員了承)

○それでは、案の通り広報チームを設置してよろしいか。(全員了承)

○それでは、その通り決定する。

3 議員立法の促進について

過去の議員提案の政策条例制定のポイント

【事務局】

○資料4により説明

【座長】

○それでは、ただいまの説明について質問や意見はあるか。

【日本共産党】

○今4つの政策条例制定についてフローが示されているが、これは、あくまで参考例ということであって、今後の条例制定に向けては、この枠にはめなければいけないということはないということを確認しておきたい。

【事務局】

○議員が提出する議案は方法として色々なものがとれると思っている。協議していく中で、どれが一番ふさわしいか、その辺は、お選びいただいて、提出の方に話を持っていっていただければと思っている。

【事務局】

○ただいまの補足だが、議員のご指摘通り、一旦これは参考として示したものであって、事務局としては、ここが課題ですとなかなか言えないところがある。これから各会派の議員で条例を作ろうとするときには、こういったことをやってきたという、あくまでも例示である。

【公明党】

○今、議員が言った通りであるが、これは特に1期目の議員には、こういった道標があった方が非常に分かりやすいと思っている。これをぜひ、うまく活用していけばいいと思う。

【座長】

○他にないか。

○それでは、案の通りでよろしいか。(全員了承)

○それでは、その通り決定する。

4 新たな協議事項について

【座長】

○次に、新たな協議事項について協議する。

○「傍聴者への配慮」を提案した、市民とともに北九州さんに内容の説明をお願いする。

【市民とともに北九州】

○提案の趣旨だが、議員が議場配付資料をご覧くださいと言ったときに、傍聴者の方々は配付資料が見られない。配付資料をもとに議論が進んでいるが、傍聴者の方々は何も見えないまま議論を見なくてはいけない状態になってしまう。そこで、モニターに今、字幕が出ているが、あのような感じで、議場にモニターを設置することができないかということで提案をさせていただいた。

【座長】

○この件について質問はないか。

○本件については、この内容が議会運営に関するものであるため、議会運営委員会で協議するように依頼したいと考えているが、よろしいか。(全員了承)

○それでは、その通り決定する。

5 その他

【座長】

- 最後に第3回協議会について、開催の日程は改めて事務局に調整していただき、決まり次第連絡する。
- 他に意見や質問はないか。
- 以上で第2回議会改革協議会を終了する。